

## 編集 後記

日本人の長寿が世界から注目されて久しいですが、海外の研究者から「日本人は、なぜ長寿か？」という問いに答えるエビデンスが少ないとの指摘をしばしば受けます。その意味で、日本からの社会医学分野における更なる情報発信が求められていると言えます。

日本公衆衛生学会は、会員数8,000人以上を誇る社会医学分野における日本最大級の学会です。毎年3,000人以上が総会に参加し、一般演題だけでも1,500演題以上あります。しかし、会員の情報発信の場である日本公衆衛生雑誌における論文数は、学会規模を考えると大変少ない印象があります。

論文数が少ない理由は多々あると思います。たとえば、自然科学系の分野と異なって新規性や独創性を出しにくい分野であることや、和文誌より出版価値が高いとみなされる英文誌に会員が投稿する傾向にあること、インターネットの発達による情報媒体としての雑誌の地位低下などです。

また、本誌に対する問題点もいくつか指摘されています。たとえば、原著論文として採用されにくい、査読が厳しすぎる、出版まで時間がかかりすぎるといったものです。そのため、会員が、本誌を避けて他誌へ投稿していることも指摘されています。現在、編集委員会では、投稿論文数を増やすための方策や、査読期間を短くするための方策などを検討しています。

今月号は、原著1編、研究ノート2編、資料1編、会員の声と返答から構成されています。内容は多岐にわたり、また、いずれも重要度が高い論文です。社会医学分野の総合誌として、会員の主要な情報発信の場となるよう鋭意努力していきたいと考えております。会員の皆様からの多数の投稿をお待ちしております。(関根道和)

### 次号予告 (第62巻・第11号)

#### 原著

介護予防運動の認知と関連する要因の検討  
活動拠点までの物理的距離と社会交流状況に着目して……………相馬優樹, 他

#### 原著

韓国中学生の性行動の実態と関連要因  
……………宋昇勲, 他

#### 研究ノート

乳児家庭全戸訪問事業に携わる主任児童委員の事業に対する必要性の認識……………佐藤 優, 他

#### 研究ノート

愛知県に在住するスペイン語圏の南米地域出身者におけるスペイン語対応の医療機関に関する情報行動と関連する要因……………高久道子, 他